

会 議 録

会 議 の 名 称	令和5年度第2回所沢市スポーツ推進審議会
開 催 日 時	令和6年2月9日（金）午前10時00分から午前11時30分まで
開 催 場 所	所沢市民体育館2階 会議室1
出席者の氏名	宮寺敏雄 ・ 矢嶋奈津子 ・ 平山邦明 ・ 鈴木克彦 石原 健 ・ 五十峯のぞみ ・ 綱木 一 ・ 村田敏次 江黒直樹 ・ 野村健二 ・ 青木佳弘
欠席者の氏名	大前仁奈
説明者の職・氏名	主査 平沼克典 主査 盛 圭亨 主査 森澤博晃 指導主事 貴志健司
議 題	(1) 協議事項 ・ 第3次所沢市スポーツ推進計画について (2) 報告事項 ・ 第34回所沢シティマラソン大会について ・ その他
会 議 資 料	(1) 会議次第 (2) 第3次スポーツ推進計画 原稿(冊子版・概要版) (3) 第34回所沢シティマラソン (エントリー・出走者数) (4) 実施イベント概要 (5) 休日の中学校部活動地域移行に向けて
担 当 部 課 名	教育総務部 部 長 千葉裕之 次 長 池田 淳 スポーツ振興課 課 長 三上佳明 指導主事 貴志健司 主 査 平沼克典 主 査 森澤博晃 主 査 盛 圭亨 主 査 清水和彦 主 査 糟谷明美 主 事 吉岡里佳子 教育総務部 スポーツ振興課 電話 04(2998)9248

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
事務局	午前10時00分、スポーツ振興課事務局により開会。
部長	教育総務部長あいさつ
事務局	<p>本日は、11名の委員が出席のため、会議は成立する。</p> <p>「所沢市の会議の公開に関する指針」に基づき公開ということでお知らせしているため、了承願いたい。</p> <p>また、会議録の記録方式は「要約方式」とし、発言者の委員名については「委員」とだけ記載し、「会議録の確定」については「会長」の承認をいただき、確定する方式とする。</p> <p>会議の議長は条例第5条の規定により、会長が議長となる。議長に会議の進行をお願いする。</p>
会長	<p>宮寺会長あいさつ</p> <p>本日は協議事項ではなく、報告事項とのことなので各委員からの発言は意見として伺うことになる。</p> <p>傍聴者の確認。(傍聴者2名)</p> <p>資料の確認をお願いする。</p>
事務局	<p>(本日の資料について説明)</p> <p>事前に郵送した第3次所沢市スポーツ推進計画の原稿(冊子版・概要版)と第34回所沢シティマラソン大会の出走者数の資料の他、本日、実施イベントの概要と中学校部活動の地域移行に関する資料をお配りした。</p> <p>(スポーツ大賞の通知・大相撲所沢場所のチラシ・市民体育館のパンフレット配布)</p>
事務局	<p>(1) 報告事項</p> <p>「第3次所沢市スポーツ推進計画について」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画の経緯 <p>第2次計画が令和5年度で終了するため、令和4年度からこの審議会でも意見を伺った。策定に当たり、国や県のスポーツ基本計画、当市の第6次総合計画、所沢市教育振興基本計画との整合性を諮りながら、庁内策定検討会議、策定検討部会を実施し、市役所内の各部署に照会して素案にまとめた。昨年9月にパブリックコメントを実施し、2名から8件のコメントがあった。これを受けて素案の精査をし、本年1月の定例教育委員会に発議し、承認されたものである。現在は冊子と概要版の印刷を業者に依頼している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当計画の特徴 <ol style="list-style-type: none"> ① 最初に計画の全体像・計画の目的・スポーツの定義をはっきりさせた。(P2～3) ② 計画策定の背景として、新型コロナや東京オリンピックなど直近の状況や、人を中心にしたまちづくりやゼロカーボンなど、本市の特性とスポーツを取り巻く環境、第2次計画の成果と課題、第3次計画に向けた方針と指標などを掲載した(P4～10) <ul style="list-style-type: none"> ・前回の計画からの変更点

	<p>① 基本理念を「市民の誰もが、スポーツにふれ、スポーツで笑顔があふれるマチ」に改めた。(P55)</p> <p>② 基本方針を国の計画に合わせて「スポーツをする」「スポーツをみる」「スポーツをささえる」の3つに改めた。(P56)</p> <p>③ 所沢市スポーツ関係団体に対するアンケート調査を実施し、記載した。(P49~51)</p> <p>④ 第4章「施策の展開を関連事業紹介」で見やすく工夫した。(P61~82)</p> <p>⑤ 第4章1. 施策展開に「④歩くことから始めるスポーツ活動」を追加。(P62)</p> <p>⑥ 資料編に「所沢市ゆかりのアスリートの紹介」を掲載した。P105~108)</p> <p>⑦ 上位計画を踏まえ作成者を「所沢市教育委員会」とした。</p> <p>なお、3月中に冊子版500部と概要版900部の印刷を終え、審議会委員のほか関係機関などに配布する。</p>
会 長	今の説明についてその他質問や意見はあるか。
委 員	素素案からの変更の説明であったが、44ページの表中の表記が素素案と異なる。正しい方を確認し訂正してほしい。
事 務 局	素素案から項目の入れ替えを行った。確認し正しいものを掲載する。
委 員	51ページのアンケート質問に対する回答があっていない。回答の内容からすると障害者スポーツの推進には何が必要かという設問ではないか。
事 務 局	確認して改める。
委 員	第3次所沢市スポーツ推進計画をホームページの公開やWEBページにて周知するとのことであったが、高齢者などにはどのように周知するのか。
事 務 局	今後、第3次所沢市スポーツ推進計画の完成について広報に掲載するとともに、各まちづくりセンターや図書館、スポーツ振興課の窓口などに冊子を配架し、多くの市民にご覧いただけるようにする。
委 員	今更だが「障害者スポーツ」は古く、現在は「パラスポーツ」と言っている。表記を「パラスポーツ」に改めた方が良い。
事 務 局	パラスポーツに表記が変更された時期を確認し、時系列での整合性をとったうえで、可能であれば修正したいと考える。
会 長	「第34回所沢シティマラソン大会について」事務局から説明をお願いします。
事 務 局	<p>「第34回所沢シティマラソン大会について」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エントリー数は4,706人 第33回大会と同等の人数だが、今回大会はエントリー期間の延長をすることなく集まった人数である。 ・出走数は3,225人だが、記録計測を取らないファミリーを加えると4,000人を超える出走があった。出走率も33回大会が約8割だったのに対し9割近い結果となった。 ・反省点について

	<p>①コース変更により、坂が増えてしまった。 ベルーナドームをスタートゴールとしていること、坂の多さ、眺望の良さが売りであり、選手へのアンケートでも「達成感がある」という意見もある。</p> <p>②ナンバーカードの発送が遅れ、到着が3日前になった種目があった。 次回大会では、委託業者の選定や事前確認を徹底し再発を防止する。</p> <p>③観光物産展を4年ぶりに開催したが、出店数が少なく会場が遠かった。 次回は第35回の記念大会となる。改善し、大会を盛り上げたい。</p>
事務局	<p>補足だが、当日は、北は北海道札幌市、南は沖縄県石垣市からお越しいただいた選手がいた。最高齢は市内在住の92歳。6キロの部門を完走している。また、全般的な課題としてシティマラソンという名称にあるように第3回大会までは市内中心部を走った経緯がある。コースの検討も含め、将来的に所沢シティマラソンをどのように実施すべきか検討するため、主催団体の一つである所沢市スポーツ協会の中に検討委員会を設置することを報告する。</p>
事務局	<p>(マラソン大会当日の映像を放映し、状況説明を行った。)</p>
会長	<p>今の説明についてその他質問や意見はあるか。 (意見なし) それでは、「その他」について事務局から報告をお願いします。</p>
事務局	<p>「その他」</p> <p>①本年度、これまでに開催したイベント概要について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イタリア水泳選手団の来日に伴う交流事業について 世界水泳選手権大会2023福岡大会の事前合宿のため、イタリア水泳選手団が本市に来訪した際の歓迎イベントや公開練習の様子を報告。 ・市民体育館開館20周年記念事業について 「市民体力テスト」市民210名が参加 「ゆかりのアスリート 上関風雅選手によるドローンレース」 「ゆかりのアスリート 佐藤拳太郎選手による陸上クリニック」を行った。 ・ところざわアスレチックフェスティバルの開催について エントリー数755名 当日参加者数563名
事務局	<p>②中学校部活動地域移行の進捗状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度から令和7年度が部活動の地域移行の推進期間となっている。 ・休日の部活動について整ったところから順次実施の方向で検討している。 ・活動の選択肢が増える、より専門的な指導が受けられる等のメリットがある反面、指導者や場所の確保、大会参加の規定、費用負担等の課題がある。 ・所沢市の部活動地域移行のロードマップに沿い、令和5年度は5回の所沢市中学校部活動地域移行検討委員会を实地した。 ・教員、保護者、児童生徒を対象に実態把握のためのアンケートを実施し、その結果について第5回の検討委員会で検討した。 ・県の指針を基に令和6年度はさらに検討を重ね体制整備の年度とする。
会長	<p>これまでの報告全体を通して、感想や質問はあるか。</p>
委員	<p>シティマラソンについて定員を増やすことは考えていないのか。</p>

事務局	<p>他自治体のマラソン大会でも定員割れが出ており、本市のシティマラソン大会もハーフ部門は定員に達していない状況である。</p> <p>こうしたなか、魅力を上げる必要がある。現在は1社にエントリーの委託をしているが、これを数社に増やすなど、ランナーにとってエントリーしやすい環境を整えるなど定員の確保に努めたい。</p>
会長	<p>補足となるが、定員についてはマラソンの準備委員会で検討される内容である。市としては、まずは定員の確保を考えている状況と考える。</p>
会長	<p>他に、質問や意見はあるか。</p>
委員長	<p>今回のスポーツ推進計画に「健康長寿のマチ」と入れていただいた。1月から埼玉県が無料アプリをダウンロードしてポイントがたまるという事業を始めた。医療費削減も兼ねて健康になるよう歩くことからスポーツ推進をしてほしい。</p>
委員	<p>部活動地域移行の課題についてだが、大会参加については今年度からクラブチームの大会への参加ができるようになってきた。一番の課題は、指導者と場所の確保である。また、それに伴う費用負担が大きな課題である。所沢スタイルをどのようにすすめるのか検討しているが、検討すればするほど課題が見つかるというのが現状である。</p>
委員	<p>最後にスポーツ推進計画についてコメントしたい。計画のアンケート回収結果が60代以上の回収率が50%を超えている反面、若い方の回収率が低い。若い世代にはインターネット、アプリ等を使えば若い世代のニーズを捉えられると考える。</p> <p>また、ささえるスポーツの考え方について疑問がある。指標に公共施設の利用状況等があるが、ささえる人をサポートするのが行政の立場ではないか。スポーツをすることへの「安全安心」「指導力向上」「ハラスメント防止」等のサポートを「ささえるスポーツ」としてとらえていただきたい。</p>
会長	<p>他に、質問や意見はあるか。</p> <p>(意見なし)</p> <p>議事については、以上である。</p>
副会長	<p>あいさつにより閉会。</p>